

Hospitality

地域のホスピタリティを訪ねて

石見焼は「食卓の応援団」

協同組合グループ石見ブランド 事務局長

白川 和子(しらかわ・かずこ)



「はんどう」と呼ばれる水がめをご存知でしょうか。島根県の石見地方は良質の陶土(都野津層粘土)に恵まれ、古くからはんどう(半胴、はんど)が作られてきました。

江戸時代末期から北前船で全国各地に出荷され、塩害や凍結に悩まされる北海道・東北地方で「石見焼のはんどう」が石州瓦と共に重宝されました。

プラスチック容器や上水道の普及など、生活様式の変化に伴い、水がめは使われなくなりましたが、大物を作る技術(しの作り)は今なお継承され、傘立てや大皿、ふたつぼ等が石見焼の代表商品とされています。



地元の文化や歴史、風土の中で生まれ、日々の生活の中では必要な道具である「石見焼」。

残念ながら地元での知名度は低く展示販売を繰り返しながら職人の思いと、テーブルコーディネートした使い方でお伝えしています。



石見焼の特徴は、1300度の高温で焼成され塩分に強く耐酸性、耐水性に優れているため、保存用容器として最適です。

最近ではテレビでも紹介されたように、大物づくりの技術を生かした「サイドテーブル」が東京は下より遠くオランダでも家具として販売されています。これぞまさしく石見焼の真骨頂です。



石見の職人は作家ではなくお客様の欲しい物を代わって作る「手」を持っています。手を伸ばせば届く所にある地元の石見焼で心豊かな暮らしをと願うばかりです。

昔ながらの手作りによる素朴な味わいを残し、使い勝手が良く、割れ難く、「食卓の応援団」としてぜひ使っていただきたいものです。

- 「石見焼」は石見陶器工業協同組合に所属する7窯。
延里窯・嶋田窯・元重製陶所・宮内窯・吉田製陶所・尾上窯・雪舟窯
- 島根県ふるさと伝統工芸品(昭和56年に指定)
- 国の伝統的工芸品(平成6年に指定)
- 石見焼陶器祭り/11月第3土日(於: 地場産業振興センター/江津市)
- 窯元祭り/5月連休(於: 各窯元)